




満天の星

令和4年12月14日

村上市立神納小学校

学校だより 12月号



新しくなりました 

日本人ってすごい！～ワールドカップサッカーのニュースより～

校長 見原 恵

「4年に一度」と聞いて、思い浮かべることは何でしょうか？オリンピックでしょうか？閏年でしょうか？今年はやっぱり「FIFAワールドカップカタール2022でしょう。」と答えるのは、私だけではないことと思います。

その毎日放送されるワールドカップのニュースを見るたびに、もちろん、試合結果に悔しさは残るものの、素晴らしい戦いだった、夢と勇気と感動を与えてもらったと思わずにはいられませんでした。また、それと同時に、「日本人ってやっぱりすごい！」という思いが日に日に膨らんできました。

【強豪国を最高のチームワークで撃破…予選突破】

日本は、ヨーロッパの2つの強豪国と同じグループに入り、最初から苦戦が予想されていました。「なんで、このグループなんだ」「予選突破は難しい」と誰もが思っていたのではないのでしょうか。しかし、始まってみれば、ドイツ戦の勝利、スペイン戦の勝利に加え予選グループを首位通過という偉業を達成しました。決勝トーナメントでも、前回大会2位のクロアチアを相手に120分フルで戦い抜きました。個の力では負けても、試合前、ハーフタイム、試合後に選手・スタッフみんなが集まってお互いを信じ合い、讃え合うチーム力は、テレビ画面越しでも心に響きました。日本人ってすごい！

【サポーターによる会場のゴミ拾いの輪が広がる】

Jリーグ会場でもよく目にする光景ですが、ワールドカップの地、カタールでも、サポーターによる会場のゴミ拾いの様子がよく放映されていました。「日本人の礼儀正しさ」「日本人の公共心」「感謝の心」が世界から注目を浴び、他の国のサポーターにもゴミ拾いの輪が広がったことが伝わってきました。やっぱり日本人ってすごい！

【ロッカールームへの心遣い】

日本チームが使用した後のロッカールームの様子もよく話題になっていました。整理整頓された使用済みのタオル類や、お礼の折り鶴と「ありがとう」と書かれたメッセージにスタジアムのスタッフが感動したというニュースがよく流れていました。「立つ鳥跡を濁さず」「来たときよりも美しく」など、日本には素敵なことわざがありますが、正にその言葉通りの心遣いに改めて、やっぱり日本人ってすごい！を実感しました。

【日本中が応援一色に染まる国民性】

予選の3試合は午後10時から、午後7時から、午前4時から、そして決勝リーグ1回戦は午前0時からというテレビ中継にも関わらず、日本中がサムライブルーの日本代表を応援する雰囲気になっていました。私の息子も小学校から大学までずっとサッカーをやっていた（日本代表の三苫薫選手との対戦もありました）ので、今回のワールドカップはなおさら気合が入った応援になりました。頑張っている人を一丸となって応援する国民性、日本人ってすごい！

そんな思いが高まる中、神納小学校の子どもたちに目を向けると、そこには、神納小学校の子どもたちってすごい！がたくさんありました。

【星の子フェスティバル、最高のチームワークで大成功】

11月24日に行われた児童会祭り「星の子フェスティバル」では、6年生を中心に楽しい、工夫いっぱいのお店が勢ぞろいしました。お客さんの呼び込みをする子、受付のスタンプを丁寧に押す子、一生懸命ルール説明をする子等、班のメンバー1人1人が自分の役割を果たしていました。来校された学校運営委員の皆様からは、「どのお店も工夫されていた。」「子どもたちが、色々なことを説明してくれた。」「呼び込みをがんばっていた。」等の感想をいただきました。神納小学校の子どもたちってすごい！

【全校朝会で、1年生に賞賛の拍手】

12月1日の全校朝会で、子どもたちに学級目標を聞きました。すると、2年生と5年生が、スラスラと答えてくれました。また、1年生には学級便りのタイトルを聞くと、全員がバッチリ「はじめのいっぽ」と答えてくれました。と、その瞬間、2～6年生から大きな拍手が沸き起こりました。

「ありがとう。」そして、神納小学校の子どもたちってすごい！



★ 盛り上がった星の子フェスティバル ★

11月24日(木)に星の子フェスティバルが行われました。今年は1家庭2名までと人数制限はありましたが、多くのおうちの方が子どもたちの考えたお店で遊んでくださいました。また、子どもたちの担当の仕事を一生懸命にがんばる姿や、班の人と楽しく店で遊ぶ姿もたくさん見られました。フェスティバル後には「たくさんのお客さんが来て大変だったけど、うれしかった」と笑顔で話す姿が見られました。本当にありがとうございました。



地域の皆様に感謝

様々な場面で地域ボランティアの方にご協力いただきました。



池の冬囲い・除草

11月11日(金)、山田地区の「和み会」の方から池の冬囲いやエベレストの草刈りをしていただきました。これで雪が降り、寒くなっても大丈夫です。

キャリア教育(6年)

11月11日(金)、14日(月)に6年生は、地域の様々な職業の方から話を聞きました。子どもたちはグループに分かれ、それぞれの仕事の大変さややりがい、どうしたらなるのかなど多くのことを聞きました。仕事道具を持ってきて分かりやすくお話をしてくださり、子どもたちも驚いたり納得したりする様子がありました。将来の仕事を考える機会にもなりました。



町探検(2年)

11月28日(月)、2年生は「道の駅神林」に町探検に行きました。直売所や食堂など4つのグループに分かれて、それぞれボランティアの方にも引率してもらい見学をしました。当日は、見学でたくさんの質問をしたり、メモしたりして多くの発見をしました。

これからもよろしくお願ひします

歯科保健指導

村上市役所保健医療課の本間歯科衛生士様より歯科保健の指導を行っていただきました。上手な歯の磨き方について学びました。自分の歯に合ったブラシの大きさや、奥歯や前歯の磨き方を、鏡をみながら一生懸命練習していました。



笹団子づくり

12月2日（金）に「ゆりの会」の方々を講師にお招きして、6年生が笹団子作りを行いました。生地であんこを包み、笹に乗せて、すげで結ぶまでの工程を体験しました。すげの結び方に手間取る姿も見られましたが、繰り返すうちに上手に結べるようになりました。自分たちで作った笹団子の味は格別でした。

赤い羽根共同募金のご協力ありがとうございました

環境委員会を中心に赤い羽根共同募金に取り組みました。この活動で、6,846円の募金が集まりました。

5日（月）に、集まったお金を社会福祉協議会の方に贈りました。皆様、ご協力いただきありがとうございました。



いきいきわくわく科学賞2022

【奨励賞】…6年 横山 心柚さん 「メダカのはすごい！メダカの研究」

新潟県ジュニア美術展覧会

【優秀賞】…3年 中山 波蒼さん

【奨励賞】…2年 小野 あんさん 4年 近 桃葉さん

5年 坂川 翠さん 高橋 悠さん



1日（日）元日
6日（金）3学期始業式
9日（月）成人の日
10日（火）授業3時間 給食なし
11日（水）給食開始 校内書き初め大会

12日（木）全校学年テスト（国語）委員会
13日（金）全校学年テスト（算数）
16日（月）スマイルチェック（～20日）
換気強調週間（～20日）
19日（木）全校5時間授業
23日（月）校内書き初め展（～2/9）
26日（木）委員会
27日（金）縄跳び大会



第41回全国児童画コンクール展示のお知らせ

1月9日（月）～1月15日（日）場所 ウオロク村上店

神林中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会

11月29日（火）に5，6年生は、神林中学校を会場に平林小と神林中のみなさんといじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。「白熱するオンラインゲーム」という動画を事前に視聴し、それについて、自分だったらどうするか、これからどうしていけばよいのかなどを話し合いました。3年ぶりに対面で行うことができ、1人1人が、いじめのことについて振り返ったり、学んだり、考えたりする時間になりました。



（動画のあらすじ）

マサルたち仲良し4人組は、オンラインゲームにハマっている。最初は楽しく遊んでいた4人だったが、白熱するあまり暴言が飛び交うようになる。そうした雰囲気が好きではないマサルは、ゲームが楽しくなくなってきたことに気付く。

そしてしばらくして、ぼくたちがゲーム内で使うようになった『死ね!』『殺す!』が、クラスでの流行り言葉になり、ぼくたちのクラスの雰囲気はどんどん悪くなってしまふ。

【問】あなたがこのクラスの中の1人なら、このクラスを良くするためにどうするか？

- ・クラスのみなかに呼びかけたり、だめだと注意したりして悪い言葉が使われないようにする。
- ・人が傷つく言葉を言うのはやめて、やさしい言葉を使うように言う。
- ・先生に相談する。
- ・オンラインゲームをやめるように説得する。

小学校高学年以上になると、オンラインゲームやLINEなどでのトラブルが聞かれます。そのため、子どもたちにとって身近でイメージしやすい話題だったようです。今回の集会を機会に、ゲームやスマホなどでの自分の使い方について考えてほしいです。

振り返り

- ★暴言を言うと、クラスの仲が悪くなることを学びました。
- ★暴言を言い合うと、自分の心も相手の心も悪くなってしまうことが分かりました。
- ★自分がやりたくないこと（友達への暴言）は、しない方がいいと思います。
- ★人が嫌がることは言わない。言っている人には注意する。自分も嫌な言葉は使わない。
- ★これから自分の身にも起こるかもしれないので、今回のいじめスクール集会で話し合ったことを生かしていきたいと思いました。
- ★周りに流されないで行動した方がよいと思った。

